

健康づくり基本計画 平成 29 年度 年次報告書

これまでの「ヘルシーピープルみえ21」の取組成果や県民の健康づくりを取り巻く状況などをふまえ、「健康寿命の延伸」、「幸福実感を高めるための心身の健康感の向上」の2つの全体目標の達成に向け、それぞれの方針に沿った各分野の主な取り組みを推進しました。

主な取り組みは以下のとおりです。

I 生活習慣病対策の推進

1. がん対策の推進

2人に1人ががんに罹る現在、予防できるがん、治療できるがんへの対策、また、がん患者・がんに罹った患者を支える家族が、安心して暮らせる社会をめざし、平成26年4月1日から施行した「三重県がん対策推進条例」に基づきがん対策を総合的かつ計画的に推進します。

1. 取組成果

(1) がん予防

条例に基づき、がん予防のための正しい知識の普及を目的に市町、企業団体等と連携した啓発イベントを実施するとともに、がん検診受診率向上のために市町担当学会議（年2回）の開催を通じて支援を行いました。

子どもの頃からがんに関する正しい知識と生活習慣を身につけるためのがん教育モデル授業を小学校から中学校にも拡大して実施しました。

(がん教育授業一覧)

平成 28 年 9 月 16 日（金）津市立美杉中学校	1 時限
平成 28 年 10 月 7 日（金）四日市市立常磐小学校	1 時限
平成 28 年 10 月 13 日（木）亀山市立亀山中学校	1 時限
平成 28 年 10 月 29 日（土）四日市市立羽津中学校	1 時限
平成 28 年 11 月 10 日（木）津市立一志中学校	1 時限
平成 28 年 12 月 14 日（水）名張市立南中学校	2 時限
平成 28 年 12 月 19 日（月）津市立久居西中学校	1 時限
平成 29 年 2 月 7 日（火）松阪市立松ヶ崎小学校	1 時限
小学校 2 校、2 時限、受講者 139 名	
中学校 6 校、7 時限、受講者 1,172 名	



四日市市立常磐小学校



津市立美杉中学校

(2) がん治療

平成 28 年 1 月から全国がん登録が開始されたことから、医療機関を対象とした説明会（7 会場）を実施しました。

また、届出対象診療所の指定を 60 診療所に対して行い、県内の指定診療所総数は 220 診療所（H29. 1. 1 現在）となりました。

（全国がん登録実施に係る説明会開催日程）

日時	開催場所
7 月 27 日（水）13:00～15:00	伊勢赤十字病院
8 月 3 日（水）13:00～15:00	松阪中央総合病院
8 月 5 日（金）13:00～15:00	四日市羽津医療センター
8 月 10 日（水）13:00～15:30	三重中央医療センター
8 月 17 日（水）13:00～15:00	伊賀市立上野総合市民病院
8 月 19 日（金）19:00～20:30	三重大学医学部附属病院
8 月 25 日（金）19:00～20:30	三重県立総合医療センター

(3) 患者支援

がん診療連携拠点病院等において緩和ケア研修を 9 回実施し、208 名の医師が研修を修了しました。また、県民対象の健康づくり講演会で緩和ケアについての正しい理解を求めるための啓発を行いました。

（県内で開催された緩和ケア研修会）

開催日程	主催
6 月 5 日（日）、12 日（日）	県立総合医療センター
6 月 25 日（土）、26 日（日）	伊勢赤十字病院
7 月 16 日（土）、17 日（日）	松阪中央総合病院
8 月 27 日（土）、28 日（日）	三重大学医学部附属病院
9 月 24 日（土）、25 日（日）	三重中央医療センター
11 月 5 日（土）、6 日（日）	鈴鹿中央総合病院
12 月 4 日（日）、11 日（日）	市立四日市病院

平成29年1月8日（日）、9日（月祝）	三重大学医学部附属病院
3月11日（土）、12日（日）	(主催)三重大学医学部附属病院 (開催場所)くわなメディアライヴ

三重県がん相談支援センターにおいて患者・家族に対する相談や交流会を通じた支援を行いました。

○ 三重県がん相談支援センターの概要

設置場所 三重県津庁舎保健所棟1階(三重県津市桜橋3丁目446-34)

相談受付日時 月～金曜日、第1日曜日(翌日の月曜日は休み)

9:00～16:30(ただし祝日、年末年始はお休み)

委託先 公益財団法人三重県健康管理事業センター

(主な業務内容)

- ・ 相談支援事業(電話及び面談) 400件(うち面談69件)
- ・ がん患者、家族を対象とした交流の場の提供
「おしゃべりサロン」実績(原則月1回) 延べ381人(県内8ヶ所で開催)
- ・ がん死別体験による悲嘆のケア
グリーフケアサロン「おあしす」実績 延べ82名(11回)
- ・ がん相談員研修会の開催(年1回)
- ・ サポーター研修会の開催 50名(7月、12月開催)
- ・ 啓発事業(HP運営、各種講座開催等)
- ・ 定例会 年2回(がん患者会等の参加によりセンター運営方針を検討)



サポーター研修会の様子

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) がん対策に対する理解を深め、関心を高めるためがん県民運動を引き続き実施するとともに、学校教育現場でのがん教育を実施し、普及に向けたノウハウの蓄積に努めます。
- (2) 全国がん登録を推進し、がん登録で得られた情報を活用して科学的根拠に基づくがん対策の取組を推進します。
- (3) さらに研修受講者を増やすため、引き続きがん診療連携拠点病院等での緩和ケ

研修を実施します。また、がん患者の就労について理解を求めるために県内企業を訪問して周知を行います。

3. 関連する評価指標の状況

◆ 市町事業におけるがん検診受診率

	(計画策定時・H22)		(現状値・H26)	目標値(平成29年度)
○乳がん	20.8%	→	37.8%	50.0%
○子宮頸がん	26.7%	→	54.2%	50.0%
○大腸がん	20.5%	→	30.0%	40.0%
○胃がん	8.0%	→	9.8%	40.0%
○肺がん	20.2%	→	23.0%	40.0%

(出典：厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」)

2. 特定健診・特定保健指導受診率向上への取組

高齢化の急速な進展に伴い、疾病全体に占めるがん、虚血性心疾患、脳血管疾患、糖尿病等の生活習慣病の割合が増加しています。平成20年4月より、「高齢者の医療の確保に関する法律」に基づき、生活習慣病の予防を目的とし、「特定健診」と「特定保健指導」の実施が医療保険者に義務づけられ、各保険者により実施されています。糖尿病等の生活習慣病については、若年期からの生活習慣を改善することで、その予防や重症化、合併症発症のリスクを軽減できると考えられており、生活習慣を見直すための手段として身体計測、血圧測定、血液検査などを行う特定健診や健診結果に応じた保健指導の受診率向上の啓発、受診勧奨等を行っています。

1. 取組成果

(1) 人材育成

関係職員が健診及び保健指導を効果的に実施できることを目的として、「特定健診・特定保健指導実践者育成研修会」「特定健診・特定保健指導スキルアップ研修会」を開催しました。(受講者計4日 延べ254名)

(2) 県民への啓発

市町、団体等が主催するイベント等にて、特定健診・特定保健指導について啓発を実施しました。

2. 来年度以降の事業展開予定

(1) 受診率向上に効果的な取組について、研修等を通じて情報共有するとともに、啓発取組を継続します。

(2) 研修についてより多くの受講者を募るため、基礎的な内容のみならず新たな知見等実践者のニーズに合わせた内容を取り入れます。また、健診・保健指導の研修ガイドラインに基づき5年毎に受講するよう呼びかけていきます。

3. 関連する評価指標の状況

◆特定健診・特定保健指導実施率

	(計画策定時・H22)	(現状値・H26)	目標値(平成29年度)
○特定健診	44.3%	→ 52.4	70.0%
○特定保健指導	12.1%	→ 19.1	45.0%

II メンタルヘルス対策の推進

1. 自殺対策

自殺は、失業、多重債務等の社会的要因や健康などの個人的な要因が複雑に関係し、うつ病などを発症しているケースが多いことから、第2次三重県自殺対策行動計画に基づき、総合的なうつ・自殺対策に取り組んでいます。また、自殺の実態や課題は、世代や地域などにより異なることから、対象の課題に応じた取組や、地域の実情に応じた対策を推進します。

1. 取組成果

- (1) 保健所単位に設置したネットワーク組織を中心に、14の保健所及び市町が関係機関や民間団体と連携して自殺対策を実施しました。そのうちの11か所では企画段階からの参画を得て事業を実施しています。
- (2) 自殺率の減少が少ない若年層対策として、学校における自殺予防授業(自己肯定感の向上、援助希求行動促進、対人コミュニケーション能力向上などを含む)を実施しました。(中学校及び高校で10回実施)また、教師や関係者を対象とした研修会(5回実施)では、教育、保健、医療、行政等の職員が多数参加し、様々な場面での対応の仕方について研修を行いました。
- (3) 自殺のハイリスク者である自殺未遂者に対して、救急病院と地域が連携して再企図防止に向けたモデル事業を伊賀地域で実施しました。また、医療職と保健福祉職を対象に未遂者支援研修会を2回開催しました。
- (4) 自殺予防やストレス対処に関する正しい知識の普及や相談窓口の周知を目的に、県民公開講座の開催や街頭キャンペーン等を行いました。また、自殺対策強化月間(3月)には、FMラジオにて特別番組「みんなで取り組む、命支える」を放送し、広く県民に向けての啓発を行いました。
- (5) 市町及び民間団体が実施する自殺対策事業への補助を行いました。(18市町・13団体)

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 企画段階から関係機関や民間団体等が参加できるよう、各地域でネットワーク組織の連携強化を図っていきます。
- (2) 学校現場に自殺予防教育を取り入れやすくするため、教材や授業方法について関係機関で検討するとともに、各年代に適した教材の作成を行います。

- (3) 自殺予防リーフレットの配布により、相談窓口の周知に努めます。また自殺未遂者に関わる救急医療機関の看護師等関係職員の人材育成と連携強化を図ります。
- (4) 地域のネットワークを活かして、各地域に効果的な啓発活動を連携して進めます。
- (5) 今後も補助事業が継続できるよう、国の動向をみながら財源確保に努めます。

3. 関連する評価指標の状況

◆自殺死亡率（人口10万人あたり）

(計画策定時・H23)	(現状値・H27)	目標値（平成28年度）
19.8人	→ 19.0人	16.1人

Ⅲ ライフステージに応じた健康づくりの推進

1. 健康食育の推進

三重の健康づくり基本計画並びに三重県食育推進計画に鑑み、県民の健康的な食生活実現に向けて、各ライフステージにおいて県民自らが健康的な食生活を実践できるよう様々な主体と連携して、減塩や野菜摂取をはじめ食事バランスについての普及啓発に取り組みます。

1. 取組成果

- (1) バランスのとれた食事をはじめ、野菜摂取や減塩を推進するため多様な主体と連携した啓発を行いました。（65回 24,000人）



イオンモール東員の食育フェス



県立図書館とのコラボ啓発

- (2) みえの食フォーラム（三重県栄養改善大会）を開催し、糖尿病をテーマに野菜たっぷり減塩食生活について、食育関係者、県民が共に考える場を提供しました。野菜たっぷり料理コンクールについては、参加者の投票により最優秀賞を決定したり、作品をホームページで紹介するなど、広く県民に啓発を行いました。

- ・ 開催日：平成28年11月15日
- ・ 場所：三重県総合文化センター中ホール、参加者：583人



みその半量をトマトケチャップにした減塩とん汁の試食



健康野菜たっぷり料理コンクールの投票



大学生による糖尿病〇×クイズ

- (3) 外食や中食を利用する際に、自分にあった適切な食事を選択できるように栄養成分表示や野菜たっぷりなどのヘルシーメニューを提供する飲食店を健康づくり応援の店として登録（更新）を行い、食環境の整備をおこないました（H29. 3 登録件数：422 件）。
- (4) 健康増進法による給食施設指導や集合研修を実施し、給食施設の栄養改善を図りました。
- ・ 給食施設管理者研修会：平成 29 年 1 月 11 日 参加者：223 人
 - ・ 給食施設従事者研修会：8 保健所×1 回
- (5) 健康増進法及び食品表示法に基づき、食品関連事業者等へは食品の栄養成分表示等の指導を行い、消費者へは栄養成分表示の正しい理解や活用について普及啓発を行いました。（指導 266 件、研修会 34 回 1,418 名）また、三重県栄養士会に委託し、健康食品の表示の見方相談会を実施しました。（8 か所 468 名）
- (6) 管理栄養士の臨地実習の受入や栄養士養成施設の指導を行い、人材育成を図りました。
- ・ 養成施設：10 校、65 人 受け入れ保健所：8 か所
- (7) 糖尿病予防のための栄養相談会を三重県栄養士会に委託して実施し、正しい食生活の普及を図りました。
- ・ 四日市市・鈴鹿市・玉城町 計 117 名
- (8) 慢性腎臓病に対する正しい知識の普及のため、三重 CKD 委員会に委託し、県民公開講座を開催しました。
- ・ 開催日：平成 29 年 3 月 5 日
 - ・ 場所：三重県総合文化センター大ホール、参加者：352 人
- (9) 平成 25 年度から 3 年間取り組んだ「食塩エコ～社員食堂節塩モデル事業～」の成果をふまえ、他の事業所への取組を推進し、働く世代の生活習慣病予防の食習慣の定着を図りました。（減塩実施事業者数 18）

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) 引き続き、県民の健康的な食生活実現に向け、多様な食育関係者と連携しながらあらゆる機会をとらえて、食生活等の生活習慣に関する啓発活動を行います。
- (2) 給食施設指導においては、利用者の身体状況の変化などの分析により栄養管理上の課題が見られる施設に対し、重点的に指導を行います。
- (3) 食品表示法の施行による食品関連事業者等からの栄養成分表示や機能性表示食品等に関する相談に的確に対応し、県民へは栄養成分表示の正しい理解



や活用について広く普及啓発を図ります。

3. 関連する評価指標の状況

◆健康づくりのための推進団体数（「健康づくり応援の店」登録店舗数）

(計画策定時・H24)	(現状値・H29.3)	目標値
392店	→ 422店	500店

2. たばこ対策（受動喫煙防止対策）

がんをはじめとする生活習慣病予防のため、禁煙を希望する県民への支援や、公共の場や店舗での喫煙対策推進などにより、喫煙率の低下や受動喫煙対策など、たばこの煙の害がない社会環境づくりを推進します。

1. 取組成果

(1) 「たばこの煙の無いお店」促進事業（H18年3月～認定開始）

三重県食品衛生協会に委託し、終日禁煙を実施している飲食店等を「たばこの煙の無いお店」として認定しています。認定したお店には認定証及びプレートを発行し、店頭での啓発をお願いしています。また、県ホームページにて認定店舗を紹介しています。（H29年3月末現在 428店舗）

(2) 啓発活動

世界禁煙デー（5月31日）及び禁煙週間（世界禁煙デーに続く1週間）にあわせ、県民ホールにてパネル展示等を実施しました。

(3) 県施設におけるたばこ対策の推進

県有施設でのたばこ対策を推進するため、庁内関係部局と連携して取組を進めてきた結果、本庁舎および地域総合庁舎において平成28年度から建物内禁煙を実施しています。

(4) 伊勢志摩サミットを契機とした受動喫煙防止対策の推進

官民一体となって伊勢志摩地域にお越しいただく方々や県民の皆さんに快適な空間を提供できる環境整備の促進をするため、「伊勢志摩サミット受動喫煙ゼロ宣言」を発出し気運の醸成をはかるとともに、喫煙環境を表すステッカーを作成し、賛同の得られた公共施設や飲食店、宿泊施設、公共交通機関等に表示していただきました。



2. 来年度以降の事業展開予定

(1) 三重県食品衛生協協会や関係団体、市町、保健所との連携を強化し、会議、研修等の機会を利用した事業周知に努め、「たばこの煙の無いお店」認定登録店舗の増加を

めざします。

- (2) 世界禁煙デー及び禁煙週間をはじめとして年間を通じた啓発を実施し、受動喫煙防止の気運の醸成を図ります。

3. 関連する評価指標の状況

◆「たばこの煙の無いお店」登録数

(計画策定時・H24)	(現状値・H29.3)	目標値
242店	→ 428店	750店

2. 「三重県口腔保健支援センター」の機能充実

「みえ歯と口腔の健康づくり基本計画」に基づき、歯科口腔保健事業の企画、立案、実施、評価、および市町、関係機関・団体等の歯科口腔保健の支援などを行うことにより、地域差を縮小し、健康寿命の延伸と生活の質の向上をめざします。

1. 取組成果

- (1) 訪問歯科診療機器の整備を支援することで、在宅訪問歯科医療の普及向上や、より安全で質の高い診療推進体制を図りました。(機器整備実施事業者数 42か所)
- (2) 地域の歯科医療に携わる人材の育成・確保の一環として、口腔機能向上、要介護者や障がい児(者)の口腔ケアや専門的知識等についての各種研修会を開催することにより、歯科保健医療関係者の資質の向上を図りました。
- (3) むし歯予防対策の一つであるフッ化物応用についての正しい知識を伝えることで理解が深まり、県内の小学校4校でフッ化物洗口を実施しました。
- (4) みえ歯と口腔の健康づくり条例に基づき、「8020推進月間(11月)」、「いい歯の日(11月8日)」の普及啓発を推進しました。
- (5) 「みえ歯と口腔の健康づくり年次報告書」を作成し、県が実施した施策などの実施状況について把握し、公表しました。
- (6) 歯科口腔保健対策に携わる市町、関係機関・団体や健康福祉部内各課及び教育委員会と連携し、歯科口腔保健対策を一元的にとりまとめ、状況把握を行い、情報の共有、提供を図りました。

2. 来年度以降の事業展開予定

- (1) すべての県民が地域で安心して生活できるよう、地域包括ケアシステム構築を見据え、地域における在宅歯科保健医療、がん患者医科歯科連携推進のための体制整備や機能の充実を図ります。
- (2) 学校、障がい児(者)、災害時歯科保健や高齢者の口腔機能向上、医科歯科連携に関すること等広く研修を充実するとともに、園、学校、施設等での歯科保健指導についても継続して実施します。
- (3) 未実施の幼稚園・保育所、小学校でフッ化物洗口が実施されるよう、教育委員会と連携し、市町への働きかけを積極的に行い、フッ化物洗口実施に向けた取組を行

います。

3. 関連する評価指標の状況

◆むし歯のない幼児の割合（3歳児）

（計画策定時・H23）	（現状値・H28）	目標値
78.3%	→ 81.9%	90.0%

◆むし歯のない児童の割合（12歳児）

（計画策定時・H23）	（現状値・H28）	目標値
45.1%	→ 58.8%	65.0%

IV 「協創」による健康な社会環境づくりの推進

1. 取組成果

（1）ソーシャルキャピタルを活用した健康づくりの推進のため、市町職員、健康づくりに関する関係職員等が参加する「地域の健康づくり研究会」を開催しました。

2. 来年度以降の事業展開予定

引き続き「地域の健康づくり研究会」を開催し、幅広い関係者の参加を呼びかけ、地域での取組の推進を支援します。

V 保健所における取組

○ 桑名保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん、糖尿病・循環器疾患等

- ・ ポスターやリーフレットによる啓発
- ・ 9月のがん征圧月間に懸垂幕による啓発
- ・ イベント参加による啓発（がん）

（来年度以降の事業展開予定）

他領域（栄養・食生活、こころの健康、たばこ）の取り組みを通じて実施します。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

三重県の自殺者数は平成27年に微増し、若年層及び中高年層における自殺の死因順位が高いことから、引き続きこころの健康、自殺対策の取り組みが必要です。

<取組内容>

- ・ こころの健康づくり講演会 1回
- ・ 若年者の自殺予防研修会 1回
- ・ 桑名地域自殺・うつ対策ネットワーク協議会 1回
- ・ メンタルパートナー指導者養成研修 管内保健師 9名
- ・ 精神科医師によるこころの健康相談 月1回
- ・ イベント参加による啓発 1回
- ・ 街頭啓発 2回
- ・ のぼりやポスター掲示による啓発
- ・ 事務所ホームページを活用した啓発

<成果・残された課題>

自殺の実態や課題は、世代により異なることから、対象の課題に応じた取り組みが必要です。若年層における対策では教育委員会や職域等と連携を図り、どのような支援体制を整えていくか検討する必要がある。

（来年度以降の事業展開予定）

「自殺対策強化月間」「自殺予防週間」などの機会をとらえ、重点的に啓発を行います。引き続き、関係機関（者）と連携した取り組みができるよう情報共有や人材育成の機会を持っていきます。

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

平成 23 年度実施の県民健康・栄養調査において、野菜の平均摂取量はすべての年代において不足しています。塩分摂取量もすべての年代において過剰傾向を示しており、生活習慣病との関連が懸念されることから、これらの改善を含めた望ましい食習慣の定着のための取組が必要です。

<取組内容>

- ・ 給食施設巡回指導 40 施設
- ・ 給食施設従事者研修会 1 回
- ・ 栄養士職域ネットワーク研修会 1 回
- ・ 健康教育（食生活改善推進員、調理師対象）5 回
- ・ 関係機関と連携した協働啓発 3 回
- ・ ポスター掲示 等

<成果・残された課題>

あらゆる職域の食育関係者に対し研修の機会を提供しているが、研修会の参加者が固定化されてきている傾向にあるため、より広く参加いただけるような働きかけが必要です。給食施設指導では、給食施設ごとの課題に重点をおいた指導が必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

引き続き、関係機関や関係団体等と連携した取り組みが実施できるよう、人材育成や啓発の機会を持っていくとともに、ネットワークの強化をはかります。三重県給食施設指導方針に基づき、給食施設指導を実施します。

2. 身体活動・運動

<取組内容>

健康増進普及月間を通じたポスターの掲示、事務所ホームページを活用した啓発を行いました。

（来年度以降の事業展開予定）

「健康増進普及月間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じた情報提供を行います。

3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

喫煙者は減少してきているが、他人の煙による被害を減らす受動喫煙防止に向けた取り組みが必要です。飲酒習慣のある人の割合は他県と比較して少ないが、こころの健康と連携した取り組みが必要です。

<取組内容>

- ・ 街頭啓発 1 回（たばこ対策）
- ・ ポスターやリーフレットによる啓発（たばこ・飲酒対策）
- ・ 事務所ホームページを活用した啓発（たばこ対策）

<成果・残された課題>

受動喫煙防止に向けた環境整備が引き続き必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

たばこ対策については、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に重点的に啓発を行います。飲酒対策については、こころの健康と連携した取り組みを行います。

4. 歯・口腔

<取組内容>

歯と口の健康週間を通じたポスターの掲示を行いました。

（来年度以降の事業展開予定）

「歯と口の健康週間」などの機会に合わせた啓発を行うとともに、ニーズに応じ情報提供を行います。

（4）社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

ソーシャルキャピタルの把握と連携、協創が必要です。

<取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会 1 回
- ・ 管内市町栄養改善業務検討会 4 回
- ・ 健康づくり応援の店との協働啓発 25 店
- ・ 関係機関との協働啓発 6 回
- ・ 健康づくり応援の店管内登録店 27 店舗
- ・ たばこの煙の無いお店管内認証店 71 店舗

<成果・残された課題>

健康づくり応援の店やたばこの煙のないお店などを地域に増やすため、趣旨に理解を得るための働きかけが必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

地域の健康づくりについてのネットワーク組織として地域・職域連携推進協議会があるため、今後も定期的に情報共有の場を持っていきます。飲食店などに対し、事業の周知をはかるとともに、協力店舗を増やしていけるよう積極的な働きかけを行います。

○ 鈴鹿保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん

<現状課題>

来所者に対する啓発が主なものであり、地域住民への効果的な啓発を検討する必要があります。

<取組内容>

- ・ リーフレットによるがん検診受診の啓発
- ・ がん征圧月間ポスター掲示による啓発
- ・ 市がん検診の周知

<成果・残された課題>

市や職域と連携するなどして、働く世代へのがん検診受診の啓発を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

がん検診受診啓発リーフレットの配布、がん征圧月間等ポスター掲示、市がん検診の周知等の取り組みを進めます。

2. 糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

企業と連携して、従業員の節塩に取り組んでいるが、生活習慣病は、予防の観点を含め早期から食生活改善等の対策が重要です。

<取組内容>

給食施設巡回指導の際、企業における節塩状況を確認するとともに、必要に応じ、適切な塩分摂取について助言を行いました。

<成果・残された課題>

生活習慣病の発症予防と重症化予防を図るため、職域と連携して働く世代に向けた啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

給食施設巡回指導、イベント等での生活習慣病予防リーフレットの配布、出前トークでの生活習慣病予防の啓発等の取り組みを進めます。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

地域の関係機関や市民団体の活動を有機的につなげ、より具体的な顔の見えるネ

ネットワークづくりが必要です。

<取組内容>

① 啓発

- (1) イベントでの啓発:メーデー&ふれあい家族スタンプラリー、鈴鹿市救急・健康フェア、コープ三重「商品・暮らし活動交流会」、亀山市あいあい祭り
- (2) 自殺予防週間:白子駅、平田町駅前での啓発テッシュ配布
- (3) 自殺対策強化月間:白子駅、平田町駅前での啓発テッシュ配布

② 人材養成事業

- (1) 支援者スキルアップ研修会
「思春期臨床から見た精神保健・福祉・医療」
三重県立こころの医療センター 臨床心理士 栗田 弘二 氏
- (2) 勤労者スキルアップ研修会
「打たれ強い自分を作るメンタル力」
株式会社グリーン・フロー代表 スポーツ・ビジネスメンタルトレーナー
高畑 好秀 氏
- (3) 若年層自殺予防研修会
「子どもの育ち支援とは」
児童精神科医 西田 寿美 氏

③ 市民団体等への支援

いのちと心を守る鈴鹿市民の会・ママホットルーム鈴鹿

<成果・残された課題>

ネットワーク会議等で、関係者が情報交換や交流を図る機会を設け、つながりを強化するとともに、地域の課題を共有し取組を広げていけるよう働きかけが必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

① 啓発

- (1) 健康づくりイベントでの啓発
- (2) 自殺予防週間・自殺対策強化月間における啓発
 - ・ 街頭啓発
 - ・ 各会議、研修会・HP 等での啓発

② 人材養成事業

- (1) 支援者スキルアップ研修会
- (2) 若年層自殺予防研修会

③ 市民団体等への支援

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

平成 28 年度実施の県民健康・栄養調査によると、野菜の平均摂取量は あらゆる年代において不足しています。野菜不足による栄養のアンバランスは生活習慣病の一因になりうることから、望ましい食事の実践への支援を推進する必要があります。また、食塩摂取量も減少傾向とはいえ、目標値を超えており、鈴鹿地域の年齢調整死亡率を見ると男女とも脳血管疾患と高血圧が県より高いため、減塩への取組みが必要であります。

<取組内容>

・ 人材育成・支援

給食施設従事者研修会	1 回	
地域活動栄養士活動支援	11 回	
災害時の栄養・食生活支援ボランティア研修会	1 回	
食育活動支援	2 回	

・ 啓発

イベント等での協働啓発	4 回	
「健康増進普及月間」での健康づくり応援の店との協働啓発 ポスター掲示		20 か所
健康づくり応援の店	21 店舗	
出前講座	2 回	

・ 指導

特定給食施設指導巡回指導	34 施設	
--------------	-------	--

<成果・残された課題>

給食施設指導や各種研修会、イベント等の機会を捉え、野菜摂取や減塩の啓発を行っているが、課題を改善するためには継続して取り組んでいく必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

県民健康・栄養調査結果に基づき、野菜摂取不足の解消に向けた取組みを重点的に推進します。また、減塩の啓発活動も併せて行います。「健康増進月間」「食生活改善普及運動」期間に、関係機関や関係団体等と連携しながら啓発活動を行います。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

ロコモティブシンドロームの認知度は、まだ低いことから知識の普及と運動習慣

の定着に向けた取り組みが必要です。

<取組内容>

管内の大学と協働し、企業の従業員に対して、ロコモ度チェックを実施しました。

<成果・残された課題>

数年前より企業と連携し、ロコモ・メタボ予防の取組を行い、企業の新たな活動として取組が始まっており、継続して企業における取組がなされるよう支援が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

管内の市や企業のイベント等、様々な機会を通じて、継続して啓発を行います。

3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

アルコールの摂取の適量や喫煙による健康被害等についての知識の普及を図る必要があります。

<取組内容>

- ・管内各市の健康づくりイベントでのアルコールパッチによる啓発
- ・「たばこの煙の無いお店」の登録
- ・「世界禁煙デー」ポスター掲示
- ・専門学校等にたばこのリーフレットを配布し、生徒に啓発を行いました。

<成果・残された課題>

アルコールの適量摂取やたばこによる健康被害についての地域住民への理解は深まっているものの、行動につながる効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

管内市のイベントをはじめ、様々な機会を通じて、継続して啓発を行います。

4. 歯・口腔

<現状課題>

健康づくりイベントや啓発期間等の機会に啓発を行っているが、市や歯科医師会、歯科衛生士会等と連携を図り効果的な啓発を行う必要があります。

<取組内容>

- ・鈴鹿食生活改善推進協議会において「歯とお口の健康」についての講演
- ・「歯と口の健康週間」ポスター掲示
- ・「8020推進月間」のぼりの掲示
- ・「口腔ケアステーション鈴鹿」の周知
- ・健康づくりイベント等での歯ブラシ、リーフレットの配布

- ・ 市歯周疾患検診の周知

<成果・残された課題>

各年代に応じた効果的な歯科疾患予防等の啓発を行うために、様々な関係者との連携を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 「歯と口の健康週間」「8020推進月間」等における啓発
- ・ 健康づくりイベント等での啓発
- ・ 市歯周疾患検診の周知

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

精神保健福祉支援団体、地域活動栄養士会、食生活改善推進協議会、企業、大学、養護教諭等と連携して、地域住民の心身の健康づくりに取り組んでいます。

<取組内容>

- ・ こころの健康：研修会の開催、支援団体会議への参加、啓発
- ・ 栄養：研修会の開催、企業従業員への働きかけ、団体会議への参加、啓発等

<成果・残された課題>

管内市や関係団体等との情報共有、連携事業等を行ってきたが、更に連携を深め効果的な取組を行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

市や関係機関、関係団体の様々な取組の機会を通じて、継続して啓発を行います。

○ 津保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん

<現状課題>

がんは、男女とも死亡原因の1位を占めています。がん検診受診率・精検受診率をさらに向上させるため、早期発見・早期治療の意義を地域に啓発していく必要があります。

<取組内容>

市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイスを行い、市第3次計画の策定を支援しました。また様々な機会を通して地域住民に啓発しました。

<成果・残された課題>

- ・ 就労者の受診体制、若い世代のがん検診受診勧奨

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 受動喫煙防止など「たばこ」の取り組みについての啓発
- ・ 各種がんのパンフレットの配布及び窓口設置
- ・ がん精密検査医療機関登録制度の住民への周知
- ・ 市の関係会議での情報提供等

2. 糖尿病・循環器疾患他

<現状課題>

津地域の平成23年～27年累計の40歳～64歳における生活習慣病死亡率は男女ともに県平均を下回っていますが、女性の脳血管疾患と糖尿病の年齢調整死亡率は県平均より高くなっており、高血圧の年齢調整死亡率は男女とも県平均より高くなっています。

<取組内容>

市健康づくり推進懇話会での情報提供やアドバイスをを行い、市第3次計画の策定を支援しました。また様々な機会を通して地域住民や食の関係者に啓発しました。

<成果・残された課題>

- ・ 脳血管疾患・高血圧予防を推進するための環境整備
- ・ 特定健診受診率及び特定保健指導実施率の向上

(来年度以降の事業展開予定)

食塩摂取量の減少、野菜摂取量の増加、栄養成分表示の活用など、食生活改善についての普及啓発を行います。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

管内において自殺者数は減少傾向にありますが、年間50名ほどあります。自殺の原因は、健康問題、経済・生活の問題、家庭問題に起因することが多いです。

<取組内容>

自殺予防週間、自殺対策強化月間に併せて、また人が多く集まるイベント等を利用し、自殺予防啓発事業を行います。身近な支援者であるメンタルパートナー養成、自殺予防研修会を開催し、人材育成を図ります。

<成果・残された課題>

国の週間・月間に合わせての啓発事業を工夫して行うことにより、自殺予防やこころの健康等に関する意識の向上を図ることができます。

メンタルパートナー養成は、管内大学・短大と連携して実施することで教員との情報交換もでき、大学生のメンタルヘルスの実情を把握できました。

人材育成目的の研修会については、ニーズにあったテーマで実施できたことで、多数の参加者があり、アンケート結果からも有意義な研修会であったと評価できま

した。

(来年度以降の事業展開予定)

自殺予防啓発事業、人材育成事業を関係機関と協働して取り組むことにより、幅広く効果的に進めていきます。

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

未成年・成人で朝食を毎日食べる人の割合が平成 22 年度と比較して減少しました。(津市計画策定アンケート)

女性で毎食野菜を食べる人の割合が平成 22 年度と比較して減少しました。(津市計画策定アンケート)

・平成 28 年の県民健康・栄養調査では、30 代から 40 代の 4 人に 1 人は肥満であるため、生活習慣病予防の観点からも、特に 30～40 代男性の肥満者の割合の減少を目指す必要があります。

・加工食品等への栄養成分表示について、食品関連事業者には表示の適正化について、また消費者には活用について普及啓発をすすめる必要があります。

<取組内容>

- ・ 給食指導を通じた食環境づくり
- ・ 研修会の開催、啓発
- ・ 人材育成

<成果・残された課題>

給食施設指導を通じた食環境づくりでは、巡回指導の効果もあり栄養管理や危機管理の充実については改善がすすめられている状況ではありますが、事業所については施設による温度差があります。働く世代にアプローチを行うには、事業所給食は効果的な発信の場となるため、巡回指導による更なる意識付けを促す必要があります。また、外食や中食でもバランスのとれた食事ができるよう、栄養成分表示の適切な表示や活用について周知を図る必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

働く世代の食生活改善のため、社員食堂での取組推進に向け啓発を行います。

野菜摂取促進や適切な食塩摂取に関して、健康づくり応援の店や関係団体、関係機関と連携しながら啓発活動を行います。

栄養成分表示については、平 32 年 4 月の完全施行に向け食品関連事業者及び消費者に啓発を行います。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

個々のライフスタイルの変化に応じた、身体活動・運動の定着化に向けた取り組みが

不十分です。

<取組内容>

保健所入口及び窓口に、啓発ポスターの掲示及びパンフレットの設置を行いました。

<成果・残された課題>

運動習慣の必要性について地域住民への啓発を継続して行う必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

啓発ポスターの掲示、パンフレットの配置を行い、地域住民への啓発を行います。

3. たばこ対策

<現状課題>

受動喫煙防止に向けた環境整備とともに、喫煙者の減少に向け、たばこに関する正しい知識の普及啓発や情報提供が必要です。

<取組内容>

世界禁煙デー及び禁煙週間に、庁舎内にて啓発ポスター掲示と啓発グッズの配布を行いました。また、ホームページにて啓発を行いました。

<成果・残された課題>

普及啓発活動を継続して実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

禁煙週間等に合わせ、ポスター掲示やリーフレット・啓発グッズ等の配布を行い、たばこに関する正しい知識の普及啓発を実施します。

4. 歯・口腔

<現状課題>

20代前半において、約半数の人が歯肉に炎症所見があることから、歯周疾患予防のために、小学生の頃から歯肉炎の予防を行うことが必要です。また、平成23年度には、40代前半で進行した歯周疾患がある人の割合は33.3%、60代前半では56%に増大しており、進行を防ぐために毎日の正しい口腔ケアと定期的な歯科受診の啓発が必要です。

<取組内容>

歯の衛生週間に、庁舎内に啓発ポスター掲示と、必要に応じチラシの掲示を実施しました。

<成果・残された課題>

関係機関と情報共有を図り、継続して普及啓発活動を実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

関係機関と連携しながら、必要に応じ情報提供や啓発を行います。

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

社会全体として健康を支え、守る環境を作ることが求められています。

<取組内容>

- ・ 地域・職域連携推進協議会の開催
- ・ 健康づくりに取組んでいるボランティア団体の育成・支援
「健康づくり応援の店」の登録拡大

<成果・残された課題>

- ・ 健康づくり応援の店 1 店舗新規登録
(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、健康づくりに取組むボランティア団体の育成・支援を行うとともに、「健康づくり応援の店」の登録拡大に取り組めます。

○ 松阪保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん

<現状課題>

胃がん検診(X線検査)の受診率が下降気味にあり、総医療費に占める疾病割合も悪性新生物が県・全国を上回っていることから、がん発生要因となる生活習慣病予防へのアプローチが必要です。

<取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、がん予防普及啓発(年4回)
- ・ ヘルピー協働隊通信へのがん対策関連記事掲載(配信先61団体)

<成果・残された課題>

- ・ 引き続き働く世代を中心に、がん検診の受診や、がんの発生要因となる生活習慣対策を進める必要があります。
- ・ 「松阪地区地域・職域連携推進懇話会」を開催。がん検診など健康づくりについての情報共有や情報交換を実施(年1回)
(来年度以降の事業展開予定)
- ・ 各種イベントでの普及啓発の継続。
- ・ 特に働く世代をターゲットにがん検診受診が進むよう、「地域・職域連携懇話会」を活用し支援します。

2. 糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

男女ともにヘモグロビンA1cの有所見者率が高く、働く世代への生活習慣病予防対策についてアプローチが不十分な状況です。

<取組内容>

- ・ 各協働イベント等での、糖尿病、循環器疾患がん予防普及啓発(年4回)

- ・ 「ヘルピー協働隊交流会」を開催。ロコモティブシンドローム予防など健康づくりについての情報共有や情報交換を実施(年1回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先61団体)

<成果・残された課題>

- ・ 引き続きターゲットに応じた生活習慣病予防対策の必要があります。
(来年度以降の事業展開予定)
- 各種イベントでの普及啓発を継続します。
特定健康診査の受診や生活習慣病予防対策が効果的、効率的に実施できるよう、地域・職域連携懇話会を活用し支援します。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

松阪地域は、人口10万対自殺者数が男女共に三重県平均を上回っていることから、教育機関、職域、地区組織、専門医療機関等と連携して、自殺対策を更に進める必要があります。

また、40代、50代の働く世代でストレスへの対処があまりできていない人の割合が高いことから、就労層のストレス対策についても協議が必要です。

<取組内容>

- ・ 松阪地域自殺・うつ対策ネットワーク会議・研修会の開催(年1回)
- ・ 自殺予防研修会の開催(年1回)
※研修会は、こころ元気会等、他のネットワークにも参加を呼び掛ける。
- ・ 自殺予防週間、自殺対策強化月間における街頭啓発、各団体イベント等での普及啓発(年13回)
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(年6回/配信先61団体)
- ・ メンタルパートナーの養成(年3回 養成数21人)

<成果・残された課題>

- ・ 自殺予防対策の啓発普及のためには、引き続き関係機関と連携しながら必要な知識や技術の理解を深める必要がある。
(来年度以降の事業展開予定)
- 各種イベントでの普及啓発の継続。
- 市町、教育機関、専門医療機関、民間団体と等との連携し、幅広い世代への啓発を実施します。
- 「松阪地域・職域連携懇話会」を活用し、ストレス対処についても協議や啓発を行います。
- 引き続き、地域での自殺相談等に対応する人材の育成

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

20 歳代の若い世代ほど、朝食を毎日食べない・野菜を食べないといった状況があるため、若い時期からの食生活改善への啓発が必要です。

また、災害時においても望ましい食生活が送れるよう、平常時から備えをしておく必要があります。

<取組内容>

- ・ 野菜摂取量増加をめざしたセミナーの開催 (年 1 回)
- ・ 野菜摂取量増加をめざした啓発 (年 4 回)
- ・ 人材育成及び連携
松阪市健康づくり食育推進会議への参加 (年 1 回)
食生活改善推進員研修会及び情報提供助言 (年 4 回)
地域活動栄養士会定例会時の情報提供助言 (年 7 回)
地域栄養管理ネットワーク研究会委員会及び研修会 (各年 1 回)
- ・ 給食施設指導
巡回指導 (年 44 施設)
給食施設従事者研修会 (年 1 回)
- ・ 健康づくり応援の店登録店 26 店への健康情報の提供 (年 1 回)
- ・ 災害時の栄養・食支援活動のための研修会の開催 (年 1 回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載 (配信先 61 団体)
- ・ 保健所ホームページへの情報・記事掲載

<成果・残された課題>

災害時の栄養・食生活支援活動について、食支援を行う NPO と市町行政栄養士合同で研修会を開催したことについて、情報交換の場ともなり有意義でした。市町栄養士の災害時の栄養・食生活支援の具体的な活動についての検討が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 野菜摂取量増加をめざした啓発の継続
- ・ 社員食堂の把握
- ・ 健康づくり応援の店登録店への健康情報の提供及び新規登録店の増加。
- ・ 保健所ホームページ、ヘルピー協働隊通信などからの情報発信

2. 身体活動・運動

<現状課題>

- ・ 日常生活における歩数の減少

<取組内容>

- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の実施 (年 1 回)

- ・ 協働団体の情報共有の場の提供(年1回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先61団体)

<成果・残された課題>

- ・ ロコモティブシンドロームの認知度はまだ低いと思われるため、引き続き啓発が必要です。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 健康増進普及月間及びロコモティブシンドロームの普及啓発の継続
- ・ ヘルピー協働隊通信などからの情報発信

3. たばこ対策

<現状課題>

受動喫煙や副流煙による体への影響について、成人より中学生の方が認知が低いこと、喫煙が影響する疾患COPDの認知が不十分である現状から、喫煙に関する更なる取組みが必要と思われます。

<取組内容>

- ・ 各協働イベントにおいて、受動喫煙防止の普及啓発(年4回)
- ・ 各団体イベント等における適正飲酒の普及啓発(年13回)
- ・ 受動喫煙対策のための研修会の開催(年1回)
- ・ 支援者の人材育成～専門研修への参加(年1回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先61団体)

<成果・残された課題>

- ・ 特に若年層の喫煙率がさらに低下するような取組
- ・ 分煙徹底の推進
- ・ 自殺予防のリスクとなりうる飲酒習慣への理解を深めるための取組

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」の普及啓発の継続
- ・ ホームページでの情報発信
- ・ 各種イベントでの受動喫煙防止普及啓発の実施
- ・ 相談・支援の継続
- ・ 各種イベント、研修会における普及啓発の実施
- ・ ヘルピー協働隊通信における情報発信
- ・ 相談者の人材育成の継続

4. 歯・口腔

<現状課題>

地域における齲歯予防対策(フッ化物洗口など)にばらつきがあるため、引き続き、個々への啓発活動が必要である。

<取組内容>

- ・ 歯科医師会等との協働による「歯と口腔の健康まつり」における啓発・健康情報の提供(年1回)
- ・ 各協働イベント等での普及啓発 (年4回)
- ・ ヘルピー協働隊通信への記事掲載(配信先61団体)

<成果・残された課題>

引き続き、市町や歯科医師会等を連携した啓発等を実施する必要があります。

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

ヘルピー協働隊メンバー連携のため、継続した支援が必要です。

<取組内容>

- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援

<成果・残された課題>

協働隊メンバー同士の連携・協働の機会が減少傾向にあります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ ヘルピー協働隊メンバーへの情報発信、情報交換、情報共有の場の提供の継続
- ・ 郡部で開催される食生活改善推進員養成講座への支援

○ 伊勢保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん・糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

今以上の高い受診率を目標にして、各市町は色々工夫し事業の改善に取り組んでおり、健診や保健指導の受診率は比較的高い状態を保っているが、評価において大きな改善は見られていません。

研修会の参加や指導技術の向上等、積極的な専門技術の向上が求められます。

<取組内容>

伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会を活用し、がん、糖尿病・循環器疾患等の情報交換を行いました。

<成果・残された課題>

- ・ 情報交換を積極的に行うと共に、課題を共有し事業の改善
- ・ 研修会の積極的な参加、専門技術の向上等

(来年度以降の事業展開予定)

伊勢地域保健向上連絡会議で市町の情報交換・支援を行います。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

当管内は、県内で東紀州に次いで自殺死亡率が高く、自殺予防についての知識を深めるための普及啓発や自殺予防に関わることのできる人材育成が必要です。

<取組内容>

- ・ 対面相談支援事業
精神科医師・保健師によるこころの健康相談
- ・ 人材育成事業
 - (1) メンタルパートナー養成事業
 - (2) ストレス対処研修
 - (3) 市町保健師及び相談支援関係者スキルアップ研修
- ・ 普及啓発事業
 - (1) 自殺予防講演会
 - (2) 自殺予防週間啓発
庁舎内に啓発コーナーを設置。のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
 - (3) 自殺対策強化月間啓発
 - ① 管内ショッピングセンターにおいて街頭啓発
啓発物品の配布と「自殺対策強化月間の呼びかけ」
 - ② 庁舎内に啓発コーナーを設置
のぼり旗を立て、啓発物品及びパンフレットの配布
- ・ ホームページによる自殺予防啓発
- ・ 伊勢保健所管内地域・職域連携推進懇話会の開催

<成果・残された課題>

自殺率の減少が少ない若年層（40歳未満）への働きかけとして研修会を実施したが、今後さらに教育分野や職域との連携を強化し啓発をおこなっていく必要があります。

（来年度以降の事業展開予定）

若年層対策に重点を置いた事業及び支援を展開実施していきます。

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

健康支援のための食の環境整備については、計画的に給食施設指導を巡回しているが、事業所においては給食管理が喫食者の健康管理と結びついているところが少ないです。

ポピュレーションアプローチでの取組のため、年度ごとの評価が困難です。

<取組内容>

- ・ 野菜摂取量・朝食摂取の促進
 - (1) 野菜フル 350 セミナーの開催
 - (2) 関係イベントでの展示等の啓発
 - (3) 市町栄養事業の情報共有
- ・ 食の環境整備（給食施設の栄養管理・ヘルシーメニューの提供・栄養成分表示の活用等）
 - (1) 健康づくり応援の店の伊勢志摩版として「いせしま健康もてなしの店」の登録促進や資質向上のための研修会の開催や情報発信
 - (2) 特定給食施設等の栄養管理に関する支援
 - (3) 関係イベントでの栄養成分表示の啓発
- ・ 人材育成・関連団体活動支援
 - (1) 栄養関係ネットワークづくり
 - (2) 食生活改善地区組織活動の組織運営支援

<成果・残された課題>

既存の事業を通じて、健康づくり計画を推進します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き事業の継続と展開を進めます。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していない。

<取組内容>

- ・ 筋力アップのための食生活講座の開催支援 1回
- ・ 市町が中心となり推進している事業を間接的な支援(市町担当者連絡調整や情報交換等)

<成果・残された課題>

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

- ・ たばこの健康への悪影響については、科学的に明らかとなっているにも関わらず、県庁舎のような公共施設でさえも敷地内全面禁煙となっておらず環境整備が一定以上進んでいない状況です。

<取組内容>

世界禁煙デー及び禁煙週間の啓発として、県伊勢庁舎玄関ロビーにて、来庁舎や庁舎内職員へ喫煙の健康影響等について、展示・啓発物の配布等により啓発を行い

ました。また、宇治山田駅において街頭啓発をおこないました。

地域職域連携推進懇話会を中心として、受動喫煙について情報交換と意見交換を行い、取組を推進していくことを確認しました。

<成果・残された課題>

継続した受動喫煙対策を推進していく必要があります。

飲酒対策については、既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き受動喫煙防止への取組、啓発は実施します。

4. 歯・口腔

<現状課題>

計画的な取り組みは実施していない。

<取組内容>

歯の衛生週間、8020推進月間ではポスターを掲示しました。

<成果・残された課題>

既存の業務を通じて、健康づくり計画を推進していけるように工夫します。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き市町の事業を間接的に支援します。

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

定期的に連携した取り組みは困難な現状です。

<成果・残された課題>

- ・ 必要時、連携しながら取り組んでいくこと。

○ 伊賀保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん

<現状課題>

伊賀地域においても死因の1位はがんです。

<取組内容>

- ・ 生命(いのち)の駅伝支援
- ・ がん征圧月間普及啓発

<成果・残された課題>

- ・ 生命(いのち)の駅伝ランナーへの激励及び募金の集約

(来年度以降の事業展開予定)

- ・生命(いのち)の駅伝支援
- ・がん検診受診啓発リーフレットの配布、がん征圧月間等ポスター掲示、市がん検診の周知等の取り組みを進める。

2. 糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

- ・職域と連携し、働く世代へのアプローチが必要です。
- ・飲食店や企業の社員食堂などにおいて、健康づくりに関する取組が実践されるよう支援し、食環境整備に努めることが必要です。

<取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会において、各関係機関が実施する健康づくりの取組について情報交換を行いました。
- ・事業所給食施設を訪問し、節塩の取組及び食生活改善に関する啓発資料の紹介など情報を提供しました。
- ・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会において、事業所の食堂における節塩の取組について事例紹介を行い、情報を共有しました。
- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーにおいて、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ 2016 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。
- ・各種講習会等により、地域住民に健康的な食生活の必要性について情報を発信しました。
- ・健康づくり応援の店の協力を得て、地域住民に健康づくりに関する資料を配布しました。

<成果・残された課題>

- ・地域住民、地域職域、各関係機関等に引き続き、健康づくりに関する情報の提供、共有を行い、継続した取組を実践する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会及び情報交換会を開催し、健康づくりについて情報の提供・共有を行います。
- ・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会を開催し、健康的な食生活の実践に繋がる情報を提供します。
- ・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

伊賀地域の年間自殺者数は、30名程度で推移しています。

<取組内容>

- ・各イベント等での普及啓発
- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発
- ・メンタルパートナーの養成

<成果・残された課題>

メンタルパートナーを24名養成しました。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・自殺予防週間及び自殺対策強化月間中の街頭啓発の継続。
- ・市や関係団体が開催するイベント等に参加し、ポスターの掲示やパンフレットの配布により啓発を実施します。

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

- ・成人1人1日あたりの平均野菜摂取量は、特に若い女性が低い傾向にあります。
- ・成人1人1日あたりの平均食塩摂取量は、減少しているが目標量には達していません。

<取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会において、各関係機関が実施する健康づくりの取組について情報交換を行いました。
- ・事業所給食施設を訪問し、節塩の取組及び食生活改善に関する啓発資料の紹介など情報を提供しました。
- ・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会において、事業所の食堂における節塩の取組について事例紹介を行い、情報を共有しました。
- ・健康増進普及月間に庁舎ロビーにおいて、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ2016くらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。
- ・各種講習会等により、地域住民に健康的な食生活の必要性について情報を発信しました。
- ・健康づくり応援の店の協力を得て、地域住民に健康づくりに関する資料を配布しました。

<成果・残された課題>

- ・地域住民、地域職域、各関係機関等に引き続き、健康づくりに関する情報の提供、共有を行い、継続した取組を実践する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・いがの国健康づくり地域・職域連携懇話会及び情報交換会を開催し、健康づく

りについて情報の提供・共有を行います。

・給食施設従事者・地域職域健康づくり担当者研修会を開催し、健康的な食生活の実践に繋がる情報を提供します。

・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

2. 身体活動・運動

<現状課題>

・地域における身体活動の取組について、詳細を把握していません。

<取組内容>

・健康増進普及月間に庁舎ロビーに、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ 2016 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

・地域における身体活動の取組について、詳細を把握していません。

(来年度以降の事業展開予定)

・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

3. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

・地域におけるたばこ、飲酒対策の取組について、詳細を把握していません。

<取組内容>

・健康増進普及月間に庁舎ロビーに、また、名張市体育健康フェスタやコープみえ 2016 ぐらしの活動交流会において、ポスター掲示やパンフレット等の配布を行いました。

<成果・残された課題>

・地域におけるタバコ、飲酒対策の取組について、詳細を把握していません。

(来年度以降の事業展開予定)

・健康増進普及月間や市や関係団体が開催する健康づくりイベント等に参加し啓発します。

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

いがの国健康づくり地域職域連携推進事業の要綱に基づき、地域と職域の健康づくり等について協議検討、情報交換を行っているが、懇話会委員等全ての委員に共通した情報を見い出すのは困難です。

<取組内容>

- ・いがの国健康づくり地域職域連携推進懇話会の実施（1回）
- ・地域職域健康づくり担当者研修会の開催（1回）
- ・いがの国地域職域健康づくり情報交換会の実施（2回）

＜成果・残された課題＞

- ・懇話会や情報交換会において、健康づくりに関するそれぞれの取組について情報を共有できる場となりました。
- ・情報交換会では、ストレスチェック制度の取組について事前資料として情報をいただくことで、当日欠席の事業所からも情報の提供があり、より多くの事例を共有することができました。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・引き続き、懇話会や情報交換会を開催し、それぞれが実施している健康づくり活動について、また課題などについて情報を共有します。

○ 尾鷲保健所

（1）生活習慣病対策の推進

1. がん

＜現状課題＞

東紀州にがん患者やその家族が交流や情報交換を行う場が少ないです。

＜取組内容＞

- ・ 生命の駅伝の支援
- ・ がんサロンの支援

＜成果・残された課題＞

生命の駅伝の支援を行うことでがんについて周知することができました。また、がんサロンの支援を行うことでがん患者とその家族の支援を行いました。

昨年度の課題で啓発の機会が少なかったので、尾鷲市健康 Happyday（健康まつり）と紀北町みんなでいこか！総合けんしんにおける啓発ができました。しかし、地域の資源が少ない地域なので、今後も積極的に啓発を行っていく必要があります。

また尾鷲管内において、今後も継続的にがんサロンが開催され、定着していくよう支援をしていきます。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ がんサロンの支援
- ・ 生命の駅伝の支援
- ・ 啓発の実施

（2）メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

管内は自殺死亡率が高い地域であり、保健所のみでの活動では限界があるため各関係機関・団体の連携、協力が不可欠です。

<取組内容>

尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催（2回）、メンタルパートナー養成研修、支援関係者研修会（1回）、地区組織育成等への支援（研修会）（2回）、啓発用チラシの見直し、管内スーパーにおける啓発、コープみえ くらしと商品の活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭における啓発、尾鷲健康 HappyDay（健康まつり）での啓発、みんなでいこか！総合けんしんでの啓発

<成果・残された課題>

尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議を通して、参加機関・団体において、どのような自殺予防に関する活動を行っているかの、把握ができてきました。事例検討等を活用し、地域における実情・実際の活動や対応方法等共有し、ネットワーク委員のつながりの強化及びさらなる知識の強化を図ります。

地域住民が「相談のしづらさ」「悩みの表出のしづらさ」を抱える様子が見受けられ、相談窓口の周知やこころの健康に関する啓発を今後も推進していく必要があります。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 尾鷲地域自殺対策ネットワーク会議の開催
- ・ 支援者研修会
- ・ 市町人材育成研修・地区組織育成等への支援
- ・ 啓発の実施

（3）健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

三重において、すべての世代で野菜の摂取が不足しています。また、若い世代において朝食の欠食があるなど食習慣の問題があります。

<取組内容>

野菜フル 350 推進セミナー、栄養表示等の指導、地域栄養活動の支援、コープみえ商品とくらしの活動交流会での啓発、尾鷲高校文化祭での啓発、健康づくり応援の店での啓発

<成果・残された課題>

いろいろな場で野菜や食生活等についての啓発を行いました。食生活改善のための情報発信を行うことができました。しかし、まだ野菜摂取量の不足や若い世代の朝食の欠食率の改善は行われていないため、引き続き改善のための取り組みを進めていきます。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ セミナーの開催
- ・ 地域栄養活動の支援
- ・ 啓発の実施

2. たばこ・飲酒対策

<現状課題>

未成年の喫煙や受動喫煙の問題があります。喫煙は生活習慣病につながるため、たばこの害の周知や禁煙支援の必要があります。

管内は飲酒に関して寛容であり、市で行われたアンケート結果においても適正量を超えた飲酒を行っている者が多い結果になっています。

<取組内容>

尾鷲高校、コープくらしの交流会における受動喫煙防止啓発、紀北町総合けんしん会場や尾鷲市健康 HappyDay 会場での適正飲酒のモデル展示、アルコールパッチテストの実施（2回）、適正飲酒量に関するアンケートの実施

<成果・残された課題>

受動喫煙の問題や禁煙、適正飲酒量やアルコールの害等に関する周知、情報の発信を行いました。

引き続き、管内住民に正しい情報を伝えられるように啓発を行います。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 適正飲酒量に関するアンケートの実施
- ・ 啓発の実施

3. 歯・口腔

<現状課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は高く、乳幼児期のう歯は成人にも移行していく可能性が高いと考えられます。地域の高校では、う歯罹患率や未処置者の多いことに問題意識を持っています。生涯通じた健康を支えるためには、乳幼児期から予防していく必要があります。

<取組内容>

コープみえ くらしと商品の交流会での啓発

<成果・残された課題>

管内の乳幼児のう歯の罹患率は減少傾向にありますが、三重県の平均値と比べると依然高い傾向にあります。親世代や祖父母世代に歯や口腔の健康が身体全体の健康につながることを、引き続き啓発する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

- ・ 啓発の実施

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<現状課題>

各種啓発において管内市町と連携した取り組みを進めていますが、対象とする地域住民が健康づくり等に関心のある住民に限られています。

<取組内容>

管内スーパーにおける啓発、コープみえ くらしと商品の活動交流会での啓発、尾鷲健康 HappyDay（健康まつり）における啓発、みんなでいこか！総合けんしんにおける啓発

<成果・残された課題>

各種啓発やイベントの参加者には情報の発信や啓発を行っていますが、一部の住民に限られています。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 各種啓発の実施

○ 熊野保健所

(1) 生活習慣病対策の推進

1. がん・糖尿病・循環器疾患等

<現状課題>

がんは県内における死因の第1位であり、熊野地域では、特に男性の肝がん、胃がん、女性の大腸がんによる死亡率が高い傾向にあります。（SMR平成23～27年）

また、生活習慣病死亡率（人口10万人対）は、三重県全体よりも高い状況です。

<取組内容>

- ・ 「生命の駅伝」実施への協力
- ・ がん関連のパンフレット・リーフレット配布による啓発活動
- ・ がん相談支援センターが実施する事業の周知
- ・ 肝炎ウイルス検査の実施及び重症化予防事業の実施
- ・ 紀南健康長寿推進協議会に参画し、糖尿病対策の体制づくり等について協議を実施。

<成果・残された課題>

肝炎ウイルス検査の実施や、がん検診による早期発見に対する県民の意識の向上を図ることが必要です。

（来年度以降の事業展開予定）

- ・ 肝臓がん予防のため、発症の原因となるウイルス性肝炎の検査や重症化予防の推進を実施します。
- ・ 紀南健康長寿推進協議会に参画し、継続的に協議を行います。

(2) メンタルヘルス対策

1. 自殺対策・こころの健康

<現状課題>

関連機関が連携し、自殺予防の支援体制を整えるとともに、地域の住民が自分自身や家族の命の大切さを認識し、生きやすい地域づくりを推進する取組が必要です。

<取組内容>

人材育成

- H28. 9. 2 教育関係者、民生児童委員等を対象に「発達障害による生きづらさを抱える方々への支援」をテーマに講演会の実施 75名
- H28. 6. 8 薬物乱用防止指導員を対象に「自殺の現状とその対応について」の情報提供を実施 9名
- H28. 6. 8 管理栄養士学生を対象にメンタルパートナーの養成を実施 5名
- H28. 10. 27 管内事業所職員を対象に「セルフケアについて～ストレスとの上手なつきあい方～」についての研修会を実施 80名

普及啓発

- H28. 9. 10～17 自殺予防週間において県民ホールで啓発物品の設置
- H29. 3. 1～31 自殺対策強化月間において県民ホールで啓発物品の設置
- H29. 3. 1 自殺対策強化月間において街頭啓発の実施

ネットワークづくり

- H28. 6. 21 熊野地域自殺対策連絡会 6名

<成果・残された課題>

若年層を支える管内の教育関係者や民生児童委員を中心に講演会を開催したところ、支援方法について参考となり、日々の支援に活用できるとの声がありました。今後さらに、教育関係者や民生児童委員との連携を強化していく必要があります。

また、今年度は、職域である管内事業所からの依頼を受けてメンタルヘルス研修会を開催し、働く世代の自殺予防への働きかけができました。これをきっかけに自殺率の高い、働く世代の男性への啓発を進めていくことが可能となりつつあります。

さらに自殺予防に力を入れている行政と団体で連絡会を実施し関係機関の動きや連携について話し合う機会となり年間業務がスムーズに行えました。

(来年度以降の事業展開予定)

個別ケースの対応は、関係機関と連携を図りながら対応の積み上げをしていくとともに「人材育成」、「普及啓発」、「ネットワークづくり」と包括的な取組を展開します。

(3) 健康づくりの推進

1. 栄養・食生活

<現状課題>

生活習慣病予防の観点から、地域住民が、質・量ともにバランスのとれた食生活を楽しむことができるよう、知識や社会資源の充実を引き続き図る必要があります。

<取組内容>

地域栄養管理ネットワーク委員会・研修会の開催、野菜フル 350 推進のための健康教育の実施や啓発、市町栄養業務連絡会議、福祉避難所との災害時食支援意見交換会、給食施設指導等を実施。

<成果・残された課題>

各関係団体、組織や市町と連携をとりながら事業を推進しています。今後も継続的に実施することで、地域住民の食環境整備を図ります。

(来年度以降の事業展開予定)

地域栄養管理ネットワーク委員会・研修会の開催、野菜フル 350 推進のための健康教育の実施や啓発、健康づくり応援の店登録店との協創による啓発、市町栄養業務連絡会議、給食施設指導等を実施します。

2. 身体活動・運動

<取組内容>

健康増進普及月間等における啓発実施。

糖尿病ウォークラリーin 紀南への参加。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、月間や地域健康づくりイベント等への参画及び啓発等を実施します。

3. たばこ対策

<現状課題>

成人および未成年者の喫煙率は共に低下しているが、たばこは、多くの疾患との関連性が指摘され、低出生体重児や流産・早産など妊娠に関連した異常の危険因子であることが明らかにされていることから、喫煙率が今後さらに低下するよう取り組む必要があります。

また、受動喫煙防止に向けた環境整備を行っていく必要があります。

<取組内容>

啓発活動の一環として、「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」である平成 28 年 5 月 31 日～6 月 6 日の間、県熊野庁舎内 1 階熊野県民ホールにて保健所実習生作成の掲示物・ポスターの掲示、啓発物品（ティッシュ、ウェットティッシュ、パンフレット）の配布を行いました。

<成果・残された課題>

「たばこの煙の無いお店」登録数が 1 件増加しました。

今後も、普及啓発活動を継続して実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」に重点的に啓発を行います。

4. 歯・口腔

<現状課題>

保育園、幼稚園、小学校でのフッ化物洗口の取組が県内でも進んでいる地域であり、また、歯科衛生士が配置されている町もあり、口腔衛生への意識は高いと思われます。

<取組内容>

「歯と口の健康週間」にあわせ、ポスター掲示やパンフレット配布等の啓発を実施しました。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き、歯と口の健康週間にあわせて啓発等を実施します。

(4) 社会環境づくりの推進等

1. 管内市町や地域住民等と連携した取組

<取組内容>

管内市町に事務局を置く紀南健康長寿推進協議会へ参画し、各種会議や協議会事業へ参加することで市町支援を行っています。

<成果・残された課題>

管内の状況の把握につながり、必要時、保健所として情報提供を実施する必要があります。

(来年度以降の事業展開予定)

引き続き協議会の一員として各種会議や協議会事業へ関わっていきます。

(5) その他取組

1. 地域と職域の連携

<現状課題>

地域と職域との連携と情報共有が必要です。

<取組内容>

H28. 9. 2 地域職域連携推進懇話会の実施

活動状況の報告と「発達障害による生きづらさを抱える方々への支援」をテーマに講演会の実施。事業所、行政等 10名

<成果・残された課題>

今年度は新たに3事業所に懇話会へ参加いただき、昨年度に引き続き、情報共有・研修の場としました。

また、来年度からは2事業所が委員として加入し、1事業所はオブザーバーとして懇話会へ参加いただける予定です。

今年度はストレスチェックが開始され、職域におけるメンタルヘルスの話を中心としたが、特定保健指導等、身体面についての話題も挙がり、労働者の心身ともにサポートが必要であることがわかりました。

<来年度以降の事業展開予定>

地域と職域のネットワークを継続するため、懇話会を実施し、情報共有を行います。